

カワサキ★U18 レポート

vol.3



川崎市では、市をもっと良くするために、子どもたちが中心になって話し合う「川崎市子ども会議」を開催しています。子ども会議では、1年間のテーマを決めて定例会議で話し合いを行っています。また、「カワサキ★U18」と題して、いろいろな子どもとの話し合い、さらには大人との話し合いを通してまとめた意見を、市長に伝える活動も行っています。今回は市長に子どもの意見の提出などを行った、3月のカワサキ★U18の様子を中心にご紹介します。

※11月までの活動の様子はvol.1、2に掲載しています。

12/8
2/2

川崎市子ども会議 定例会議 「市長に伝える意見を考える」

11月17日に開催したカワサキ★U18で大人と話し合った内容を振り返り、「子どもが考える地震のそなえ」について、市長に伝える子どもの意見を話し合いました。



2/16

川崎市子ども会議 定例会議 「来年度のテーマ候補を考える」

「子ども・若者の“声”募集箱」に届いた子どもの意見を参考にして、3月に市長と意見交換を行うカワサキ★U18の来年度テーマ候補を2つ考えました。



3/27

カワサキ★U18 「子どもの意見を市長に提案・市長と意見交換」

1 「子どもが考える地震のそなえ」について、市長へ子どもの意見を提案

7月・11月のカワサキ★U18や川崎市子ども会議定例会議で1年間検討してきた「子どもが考える地震のそなえ」について、子ども会議メンバーが市長に意見を提案しました(次ページ参照)。

市長からは、「いただいた意見が実現できるよう検討したい」、「地域の中でやっている防災訓練にも、ぜひ参加してほしい」、「カワサキ★U18で出た意見を地域の防災訓練でも伝えたい」、「家族でも防災について話し合ってもらいたい」などのコメントをいただきました。



■子どもから市長に提出した意見の内容

① 普段から防災情報に触れるきっかけがほしい

<理由>

すでに発信されている防災情報を知る機会がないから

<例えば…>

- GIGA端末を利用して防災の啓発をする。
- 公共のビジョンなどのいろいろな情報手段を使う。

② 子どもが主体的に防災について考えるきっかけがほしい

<理由>

大人がいなくても自分で何とかするという意識が必要だから

<例えば…>

- 子どもが中心となって考えた防災訓練を行う。
- ハザードマップなどを使った防災訓練を行う。

③ 家族で防災について考える機会がほしい

<理由>

家族と防災について話す時間がとれないから

<例えば…>

- 学校で保護者と一緒に防災を学ぶ機会を作る。
- 家族で一緒に防災マップを作る。

④ 子どもが過ごしやすい避難所にしてほしい

<理由>

災害時に避難所で子どもの権利が守られるのか心配だから

<例えば…>

- 避難所運営に子どもの意見を取り入れる。
- 子どもが考えたチェックリストを地域の人と一緒に共有する。

2 令和7年度テーマ候補について、市長と子どもの意見交換

「子ども・若者の“声”募集箱」に届いた子どもの意見を参考にして、川崎市子ども会議定例会議で考えた令和7年度のカワサキ☆U18のテーマ候補について市長と意見交換をしました。

令和7年度のテーマ候補は「**① 私たちの『子どもの権利』をもっと大切に！**」と「**② 私たちが考えるキレイなまちづくり**」の2つです。

※「主な子どもの意見」は似たような意見をまとめて掲載しています。

① 私たちの『子どもの権利』をもっと大切に！

主な子どもの意見	主な理由
子どもにも大人にももっと「子どもの権利」を知ってもらいたい。	<ul style="list-style-type: none"> ● 学校では学ぶ時間が少ないから。 ● 子どもだけが権利を知っても、大人が知らないと権利が活かされない。 ● 大人も子どもも「子どもの権利」を知れば、どちらも重要と考えるから。 ● 子どもの権利条例30条・31条を守ってほしい。
相談しやすい環境(場所)が必要	<ul style="list-style-type: none"> ● 親や誰にも話せない人がたくさんいるし、それで命を絶つ人もいるから。 ● 相談所に行っても、何も解決せず前よりいじめ等がひどくなる場合がある。 ● 相談したくても緊張して相談できない人もいると思うから。
意見が違ってみんな認め合ってほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ● みんなが認め合っていれば、自分の意見を伝えることができるから。 ● 女の子でもズボンをはきたい子もいるから。 ● 友達と意見が違って、流されずに自分の意見を大切にしたいから。
気持ちを分かち合える場所が必要	<ul style="list-style-type: none"> ● みんなに自分の意見を認めてもらえるか不安だから。 ● 一人一人によって、抱えている悩みは違うから。
子どもの意見を聞いてほしい。自分で決める権利が大事。	<ul style="list-style-type: none"> ● 自分なりの考えが生まれやすいから。 ● 子どもだからといって生活を制限されてしまうから。 ● 親に育ててもらってることはわかるけど、自分のことは自分で決めたい。 ● 理由なき強制は自己決定権を侵害しているから。
子どもも納得できるルールを	<ul style="list-style-type: none"> ● こどもは理由もわからないまま、大人が決めたルールを守らされている。
プライベートを守ってほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ● 知られたくないことも親に知らされるから。 ● 兄弟が何も言わずにスマホをのぞくから。

主な市長のコメント

- 多くの人に子どもの権利を知ってもらうことは大事。ひとつの方法だけでは難しいので、いくつかの方法を重ね合わせる必要がある。
- 自分たちでルールを決めることは賛成。自分たちで決めたルールを自分たちで守ることが理想的。
- 悩みを抱えて命を絶つのは一番悲しいこと。どうしたら話を聞いてあげられたのか、気持ちをシェアできたのか。そういったニュースを聞くと忸怩たる思いがある。
- 違う意見があって当たり前。違う意見を尊重できる人は素敵だなと思う。

② 私たちが考えるキレイなまちづくり

主な子どもの意見	主な理由
(つい入れたくなる)ごみ箱をもっと置く。	<ul style="list-style-type: none"> • 楽しそうだとゴミを入れたくなってゴミが減るから。 • 捨てる場所を作るとポイ捨てが減ると思うから。 • ゴミがあると子どもにとっても怖いし不快だから。
ポイ捨てをなくす。	<ul style="list-style-type: none"> • ゴミを拾ってくれる人もいるのに、いつまでもゴミが減らないから。 • プラゴミは自然に分解されず、動物にとって危ないから。
手入れされている自然を増やしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> • 緑を増やすと地球にも優しいし、まちもきれいに見えるから。 • 植物が多いと花が咲いてキレイだけど、放っておくと道路に飛び出したりして邪魔になるから。 • 枯れっぱなしになっている植物を見ると景色が寂しく感じるから。
心がきれいな人になる。そういう人を発信する。	<ul style="list-style-type: none"> • 心がキレイになればゴミが減る。環境をキレイにすれば心もキレイになる。 • 心が汚いとまちも汚れるから。居心地の良いまちは心がスーッと軽くなる。 • ゴミ拾いの活動など、川崎の素敵な人を紹介したら、他の人が何かに取り組みきっかけになるかもしれないから。 • 近場の人たちと仲が良ければ、自然にまちをきれいにしようと思うかもしれない。
SDG'sを大切に	<ul style="list-style-type: none"> • 自然保護や環境整備は、SDG'sが当てはまると思ったから。 • 3～5Rを心がけることにより、ゴミの量を減らすことができ、結果的にSDG'sに貢献することができるから。
自転車のなだれ防止の工夫をする。	<ul style="list-style-type: none"> • ベビーカーでその道を通ろうとした人が不便そうにしていたから。
落書きを止めてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> • 落書きがあると夜は怖いし、落書きをなくすことで気持ちよく生活できるから。

主な市長のコメント

- 落ちているごみを拾っても、捨てる場所がないから、拾わないという循環をどうやって変えていけばよいか、というのはおもしろいアイデア。
- 若い人も子どもたちも、地域が行う公園のごみ拾いや草むしりに参加してもらい、自分たちの公園を自分たちできれいにしていこうという雰囲気になるとよい。
- 1回でもごみ拾いの活動をした人はポイ捨てをしない。ポイ捨てし続ける人にどのように訴え、ごみを捨てない人を増やすかが大事。
- キレイなまちに住みたいというのは共通の思い。大人も子どもも知恵を絞り合っているとよい。

カワサキ☆U18に参加していただいた皆さん、ありがとうございました！
 今後もカワサキ☆U18では、子どもの意見を市に届けて、より良いまちづくりに貢献していきます！

<問い合わせ> 川崎市教育委員会事務局 生涯学習部 地域教育推進課
 TEL 044-200-3565
 メール 88chiiki@city.kawasaki.jp